



仕様書PF第05022号C

年 月 日

エフレックス用異種管接続部材

難燃異種管継手アクアタイプ

仕 様 書

古河電気工業株式会社
AT・機能樹脂事業部門
機能樹脂技術開発部





1. 適用範囲

本仕様書はエフレックス用異種管接続部材「難燃異種管継手アクアタイプ」(以下、部材とする)について適用します。

2. 適用異種管

エフレックスと接続できる異種管は表-1のとおりとします。

表-1 異種管継手組み合わせ表

品番	異 種 管					
	GP	ラインク [®] 厚鋼電線管	厚鋼電線管	薄鋼電線管	VP	VE
NFT-30AQ-1	25	28	28	—	—	28
NFT-40AQ-1	40	42	42	—	40	42
NFT-50AQ-1	50	54	54	—	50	54
NFT-65AQ-1	65	70	70	75	65	70
NFT-80AQ-1	80	82	82	—	75	82
NFT-100AQ-1	100	104	104	—	100	—
NFT-125AQ-1	125	—	—	—	125	—

3. 構造

3. 1 構成

部材は表-2に示す部品より構成されます。

表-2 構成

部品名称	仕 様	数量 (ヶ/セット)
スリーブ	本体:高密度ポリエチレン成形品 内側:水膨張性不織布	1
カラー	φ30~100:難燃プラスチック(ABS)製 φ125:防錆鋼製	1
SR パッキン	ゴムパッキン付鋼製リング	1
カットリング	防錆鋼製リング	1

3. 2 構造寸法

各部材の構造寸法は表-3及び図-1の通りとします。

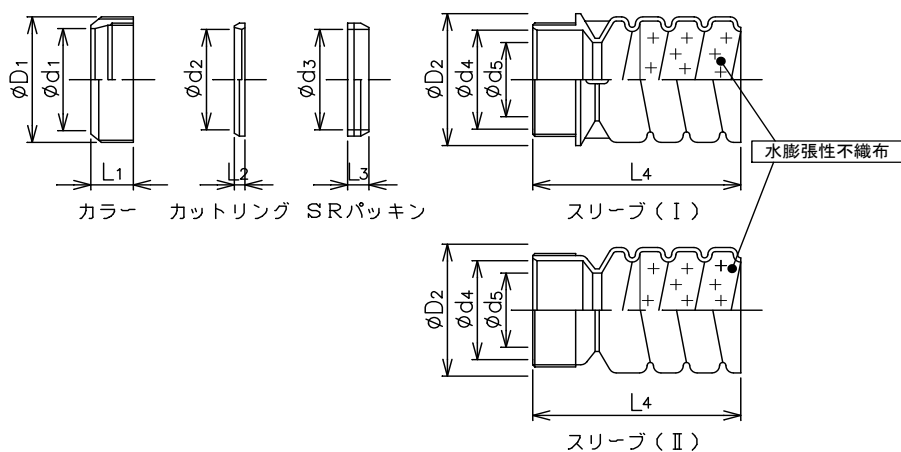


図-1 構造



表-3 寸 法

(単位：mm)

品番	カラー			カットリング		SR パッキン	
	ϕD_1	ϕd_1	L_1	ϕd_2	L_2	ϕd_3	L_3
NFT-30AQ-1	52.9 ± 1.0	35.3 ± 1.0	27.0 ± 1.0	35.5 ± 1.2	5.8 ± 1.0	36.0 ± 1.0	7.6 ± 2.0
NFT-40AQ-1	71.7 ± 1.0	49.8 ± 1.0	30.0 ± 1.0	50.0 ± 1.2	5.7 ± 1.0	50.4 ± 1.0	8.6 ± 2.0
NFT-50AQ-1	81.8 ± 1.2	61.6 ± 1.2	36.0 ± 1.0	61.8 ± 1.5	6.5 ± 1.0	62.3 ± 1.0	10.5 ± 2.0
NFT-65AQ-1	99.6 ± 1.2	77.8 ± 1.2	36.0 ± 1.0	77.4 ± 1.5	6.5 ± 1.0	77.9 ± 1.0	9.0 ± 2.0
NFT-80AQ-1	116.2 ± 1.5	90.8 ± 1.5	38.0 ± 1.0	90.2 ± 2.0	7.5 ± 1.0	90.6 ± 1.0	11.5 ± 2.0
NFT-100AQ-1	143.5 ± 1.5	116.6 ± 1.5	46.0 ± 1.0	115.6 ± 2.0	7.0 ± 1.0	116.0 ± 1.0	12.5 ± 2.0
NFT-125AQ-1	159.0 ± 2.0	141.8 ± 0.6	46.0 ± 1.0	141.8 ± 2.0	5.0 ± 1.0	140.8 ± 1.0	10.6 ± 2.0

品番	スリーブ				
	ϕD_2	ϕd_4	ϕd_5	L_4	形状
NFT-30AQ-1	50.5 ± 1.5	35.7 ± 1.2	30.3 ± 2.0	76.0 ± 5.0	I
NFT-40AQ-1	73.2 ± 1.5	50.4 ± 1.2	39.7 ± 2.5	96.0 ± 8.0	I
NFT-50AQ-1	82.0 ± 2.0	62.0 ± 1.5	51.7 ± 2.5	116.0 ± 8.0	I
NFT-65AQ-1	104.4 ± 2.0	77.8 ± 1.5	71.9 ± 2.5	135.0 ± 8.0	I
NFT-80AQ-1	116.8 ± 2.0	90.8 ± 2.0	80.6 ± 2.5	158.0 ± 8.0	I
NFT-100AQ-1	141.0 ± 1.5	115.5 ± 2.0	103.2 ± 2.5	185.0 ± 8.0	II
NFT-125AQ-1	170.1 ± 2.0	141.0 ± 3.0	130.0 ± 3.0	200.0 ± 8.0	II

4. 特性

部材の特性は表-4 の通りとします

表-4 特 性

項 目	規 格	試験
4.1 外観	表面は滑らかで、実用上有害な外観上の欠点（キズ、割れ等）がないこと。	5.1
4.2 寸法	表-3 による。	5.2
4.3 水密	試料内に漏水の無いこと。	5.3
4.4 引張強度	表-5 の規定荷重で部材の破損、エフレックス抜け等の異常が無いこと。	5.4
5.5 難燃性	JIS C 3653 付属書 1 5.2「難燃性試験」に準じた試験を行いこれに合格する事。	5.5

5. 試験方法

5. 1 外観

目視により調べます。

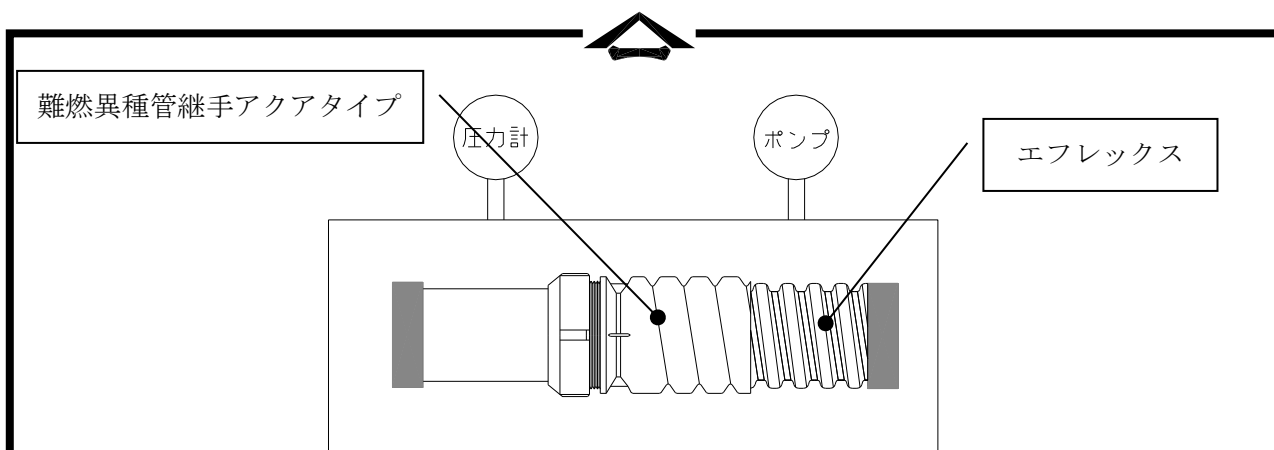
5. 2 構造寸法

JIS B 7507 に規定されているものもしくはそれに準ずるノギスを用いて測定します。

径および長さは等間隔となる 2 ヶ所を測定し平均値を算出します。

5. 3 水密

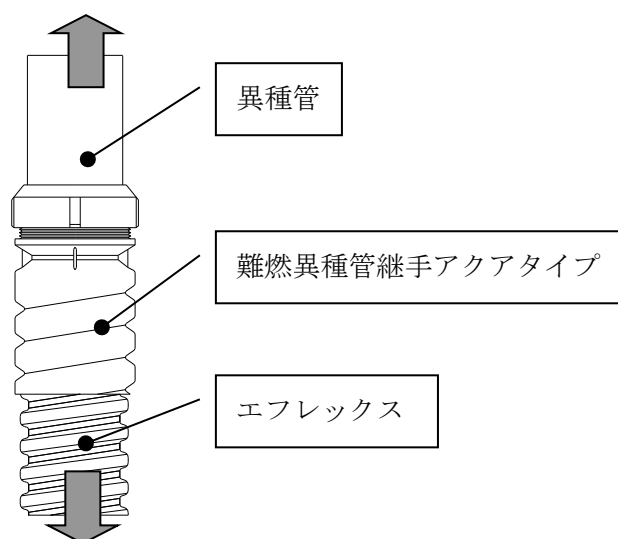
図-2 のように水密試験装置内に両端を密封した試料をセットし、試料外部から 0.05MPa の水压を加え、これを 10 分間保持します。試験後、試料内に漏水があるかどうかを目視により確認します。



図－2 水密試験

5. 4 引張強度

図－3 のように部材にエフレックスと異種管を接続し、引張り試験機にセットします。エフレックスと異種管間に規定の引張荷重を加え、部材の破損、エフレックス抜け等の異常が無いことを目視により確認します。引張速度は20mm/min とします。



表－5 規定荷重

サイズ	引張荷重 N
30	800
40	1000
50	1200
65	1300
80	1600
100	1800
125	2500

図－3 引張試験

5. 5 難燃性試験

JIS C 3653 付属書 1 5.2 「難燃性試験」 に準じた試験を行います。

6. その他

本書記載の仕様は、製品改良のためことわりなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上